



放送大学茨城同窓会会報



ときあ

発行所

放送大学茨城同窓会(茨城学習センター内)
〒310-0056水戸市文京2-1-1(茨城大学内)
発行人 会長 細川 力
編集 会報編集委員会



魅力のある同窓会を求めて

茨城同窓会
会長 細川 力

放送大学学園が設立され授業が開始され現在までに約3万人の卒業生と10万人の学生が在学している。昨年6月に20周年記念式典と「放送大学の未来に向けて」についてのシンポジウムが行われ放送大学の特別な法人化と今後の方向やあり方が討議された。少子化の中で若い学生の確保が難しいなか豊富な教材と人材に恵まれていること、放送大学は戦後生まれの向学心旺盛な中高年に受け入れやすいこと、単位互換性などで他大学の学生を多く受け入れていること、などがあげられた。

同窓会もまた同窓会連合会としてCS放送に伴い全国化を推し進めている。現在25の同窓会と約6,000名の会員を数えている。多くの卒業生を輩出するなかで同窓会の会員の確保をどうするのか、同窓会の魅力をどこに置くか、問われています。同窓会の主な目的は親睦と相互の情報交換と放送大学の発展への支援にあります。会員の求める内容を満すものでなければならない。学生の殆んどは社会人で、多種多様な人生観や職業を持っています。同窓会はその延長線に在って互いの学習の成果を認めそこから学ぶところにあるものだと思います。多様性を持たせ思考錯誤を繰り返しながら茨城の同窓会に適したものを見つけたいと思います。

会員の皆さんの要望があればご提案をぜひお願いします。また新入学生の開拓と大学の情報を同窓会員にも伝えるため学習センターから郵送しています。

放送大学茨城学習センター・茨城大学環境リサーチラボラトリー棟が4月から使用可能

かねてより建設中の首記の合築棟が完成し、本年度から使用できるようになりました。茨城学習センターは2階、3階を使用します。

各団体の会合や行事にも利用できますので、同窓生もお気軽にお立ち寄りください。

また、今まで、速度が遅くて、使用に耐えなかったパソコンが新しく更新されます(16台)。

放送大学茨城学習センター & 各団体合同忘年会開催される!

平成16年12月21日、水戸の金龍菜館にて、茨城放送大学学習センターおよび各団体合同の忘年会が開催された。従来から、英会話サークル、PCクラブ、ふるさと探勝会で合同で行われていたが、同窓会も今回から参加し、学習センターの各サークル団体との懇親を深めた。

学習センターからは奥所長のご参加をいただき、茨城学習センターの現状についてお話していただきました。(葛貫記)

茨城学習センター奥所長の送別会を開催

奥学習センター長が今年の3月末をもって、退官することになり、茨城同窓会をはじめ学習センターのサークルと合同で送別会を開きました(3月26日、水戸甲羅本店にて)。

奥所長は、平成12年4月に就任以来、5年間にわたり、茨城学習センターの発展に寄与していただきました。心からお礼を申し上げます。

今後は、今までできなかった研究課題を整理し、論文にまとめられるとのこと。益々のご発展を祈念します(葛貫記)。



(送別会に集まった皆さん)

新会員13名が入会

H16年9月卒業生の三浦ちい子様、矢野正義様、手塚直美様、軍司明美様、近藤まゆみ様が、H17年3月卒業生の前島寿子様、猪膝重之様、高橋活夫様、斉藤寿子様、稲辺仁様、美留町洋子様、太田幸栄様、大塚幸子様の新13名が入会されました。現在、同窓会会員総数は71名です。

世界を飲み込む強大なブラックホール 中国の大連視察報告(2004. 7. 7~11)

葛貫壮四郎

知人から声をかけられ、日本とも関係の深い大連を視察してきたので、以下報告する。

中国の発展ぶりは、各種報道で聞いてはいたが、ツアーに参加し、中国の政府役員、企業経営者と会い、中国の活力、国レベルでの政策の明確さ、人々の意識など肌で感じる事ができた。

まず感じたことは、大連の町全体の美しさである。緩やかな山々、海に囲まれた半島、芝生の中に整然と立ち並ぶビル群など、自然との調和が感じられる。地震がないため、レンガ積み工法を採用して3ヶ月ほどで大きなビルができあがるという。街作りも日本の3倍から10倍も早いのではないだろうか。

宿泊した大連賓館(百年の歴史をもつ旧大和ホテル)や中山広場を取巻く歴史的な建物にも触れる事ができた。丸い広場は市民の憩いの場として、朝は太極拳や踊りの練習、夕方は若者の遊び場となっている。

開発区・保税區では、企業誘致のための標準工場や、そこで働く従業員用のアパートを提供し、いわゆる職住近接の街作りをしている。

さらに、日本誘致用の、日本語を教育する大学や民間の学校群が存在し、地方の人材を吸収している。日本統治時代があり、日本語が通じる町でもあったが、現在はこれを武器として日本語とIT教育を一貫して行い、工業都市からソフトウェア都市へ脱皮を図っている。IT学生を毎年1万人も輩出するのは驚きである。インドは英語で、大連は日本語でソフト開発やサービスを行い、世界のオフショアの地位を確立しつつある。

大連は、中国ソフトウェア産業の国際化都市モデルに選ばれ、市政府から様々な優遇政策やサポートを得ている。このため、IBMやDellなどのコールセンターがここに集約を始めている。朝鮮民族も多いため、韓国も出始めており、アジアの一大コールセンター拠点となりそうである。

また、紙ベースのデータ入力もお手のもの。大連現代では、若い人達が古い日本書籍の入力をしていた。文字の他イラストも入力し、2人の成果物をベリファイする。一般的にはスキャナで読み込んだ電子データが日本から送られ、画面を見ながら打込み、費用は日本の1/2から1/3とのこと。

中国では、IT産業は給料が高いため優秀な人材が集まってきている。大連現代ではデータ入力の他、国家プロジェクトである3次元画像処理技術を応用したデジタル核医療技術の一部も見学できた。放射線治療システムでは、的確なガンの患部のみを治療するための断層写真と照射区域の最小化技術など、45才の若い羅社長から説明を受けた。

ハードウェアとソフトウェアの開発を大学を卒業したばかりの従業員達が生き生きと仕事をしている。ある日本企業は、訪問するまで中国のソフトウェア技術に疑問を持っていたが、現場を見て、技術に惚れ込み、契約が成立したとのエピソードもあったとか。大連現代はCMM(成熟度モデル)レベル3を取得済みで、本年11月にはCMM5を目指している。中国でCMM5をとっている5社の内2社が大連にあり、地域としてのレベルの高さが分かる。まさに大連は、国家レベルの政策で「世界を飲み込む強大なブラックホール」になりつつある。日本にも特区制度があるが、規模の違い、政策の明確さでは比べることもできない。

大連ツアーに参加して、中小企業の皆様に以下のメッセージをお送りしたい。

- 1) 日本企業は生き延びるため井の中の蛙を脱皮して、世界を知るべきです。進展するグローバル化を肌で感じ、その中で生き残り策を考える時です。特に中国の、そして大連の発展ぶりは感じるに値します。
- 2) 語学上のハンデが少ない大連は、工場進出・合弁会社・アウトソーシングなど海外ビジネスを始めるのに有利だと感じました。
- 3) 国境がなくなったことを意味するグローバル化を認識している企業は、多様な海外活用を始めています。フィージビリティ・スタディを通して、自社の課題を明らかにし、経営戦略として考えることをお奨めします。
- 4) 日本が世界第2位の経済大国を維持するには、保有する製品やサービスの高度化、即ち日本ブランド化が必須です。そのためには卓越したマネジメント、すなわち、グローバル化対応経営は不可欠です。



(大連のソフトウェアパーク全貌:パンフより)



(大連現代の羅社長(前列右)と情報交換(筆者後列右))



薬膳と食品の機能

前島 寿子

〔研究の目的〕

薬膳の基礎になっている中医薬学は凡そ三千年の昔周の時代に始まり、自然界の現象、事物、人体に至るまですべては互いに関連を持ち哲学的思想である「陰陽五行説」に基づき互いのバランスを保ちながら存在していると考えられた。人体の生理状態もこの陰陽のバランスで保たれており、バランスが崩れ破綻すれば病気を引き起こすと考えられている。

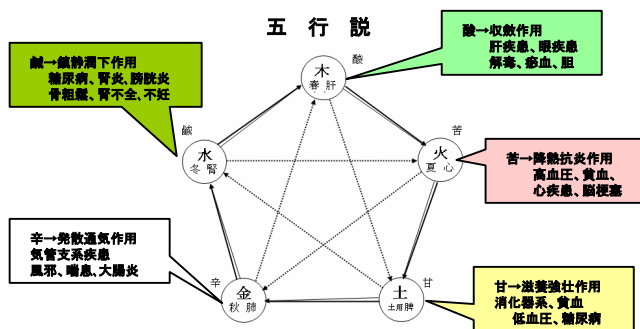
中医薬学の理論をもとにしている薬膳は、日常の食事によってバランスを正常に保ち、健康の保持と病気予防をしようとするものである。バランスを崩し病気を引き起こしたときは五行説にもとづき食物、薬物が持つ「性」と「味」でバランスを是正し、自ずと備わっている自然治癒力を高めて正常に戻すという考えがある。

今回の研究は、このように今日の科学から見たら非科学的とも考えられる薬膳の科学性、薬膳における食品の機能性を二つの実験を通して考察することを目的とした。

〔実験の方法〕

実験を始める前に先ず被験者のバランス状態を検証する必要がある。被験者の体質や全体像が、陰陽のどちらに傾いているかを見て、陽に強く傾いていればその体質は「熱実証」であり、陰に傾いていれば「寒虚証」と判断される。この検証法を薬膳では弁証という。

次に証が明らかになった後、五行説に従ってその体質に合う食物、薬物を選ぶ。食物、薬物には五つの「性」と「味」が有り、「性」は熱、温、平、涼、寒である。「味」は酸、苦、甘、辛、鹹であり、「味」は五臓との関係も深い。また、この五性、五味のバランスが崩れても健康状態は悪くなる。陽に傾いた「熱実証」体質の人は、「性」は涼、寒、「味」は酸、苦、の食物、薬物を選び、陰に傾いた「寒虚証」体質の人は、「性」は温、熱、「味」は甘、辛、(鹹)の食物、薬物を選んでバランスを保つのである。以下二つの実験はこの方法をもとに弁証をして食材を選び実験をした。



実験 I 目的: 肥満症と高血圧症の薬膳における食品の機能を考察

使用食品: 主として「蓮の葉」、粥及びお茶として摂る

被験者: 58才女性、証は「熱実証」

出典



荷葉粥 飲食治療指南 寶国祥



実験 II 目的: 糖尿病と貧血症の薬膳における食品の機能を考察

使用食品: 茸類、枸杞子、金針菜、小松菜、レタス、人参、ほうれん草、青梗菜、飼料



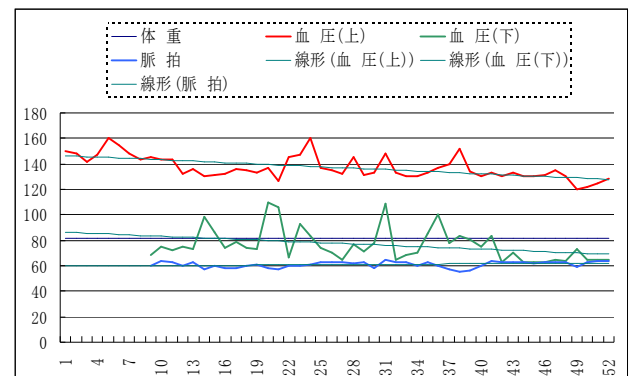
被験犬: 小型柴犬、14才、雌



〔実験の結果と考察〕

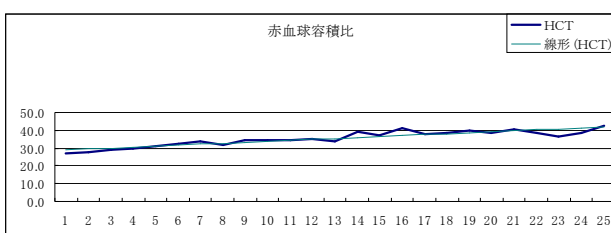
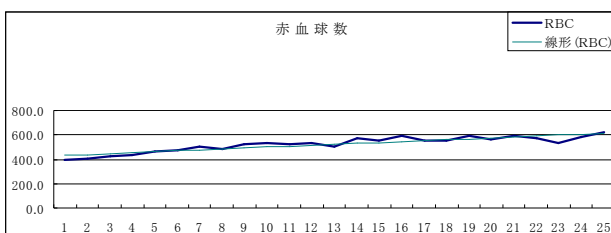
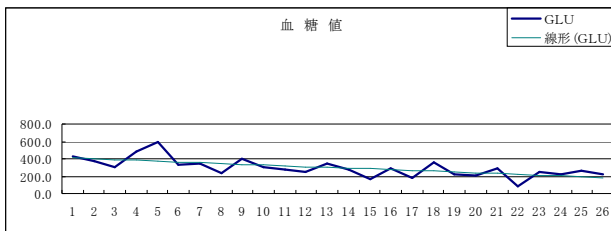
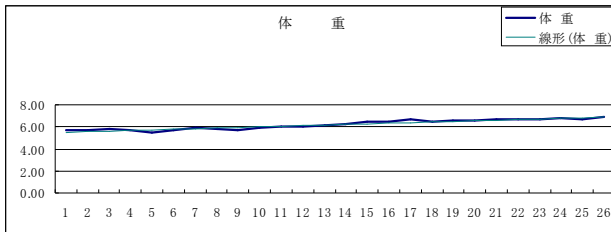
実験 I

開始から20日前後で少し血圧に安定が見られるようになり、徐々ではあるが下降傾向が見られる。拡張期血圧には時折変動はあるものの収縮期血圧の改善は見られた。終了時にほぼ正常値範囲に収まり頭痛、肩こりもなくなった。このように実験が良好の結果を得たことは、被験者のもつ体質の「証」が食材、蓮の葉の「性」「味」と的確に適合したからと考える。



実験Ⅱ

糖尿病においては終了時にインシュリン注射の量は30%も減り、体重は1Kg余増量を見た。また貧血症も開始時に赤血球数、ヘモグロビン値、赤血球容積比は正常値以下であったが、終了時にはすべて正常値となりよい結果を得た。今回の食品選択は科学的成分ではなく五味、五性によって選んだものであるが、実験結果、食品の持つ機能が充分発揮されたと考える。



【まとめ】

今から三千年も昔、自然哲学的思想である「陰陽五行」をもとに行われていた薬膳が、科学の発達した現在もその時代のままに用いて効果を発することに改めて驚異を感じた。

長い歴史の中で人体実験とも言うべき数多くの経験を経て、その間に研ぎ澄まされ、選び抜かれた結果であると考えます。

学習センターの後任について

奥先生の後任は、塩見正衛先生です。また、後藤さん(サークル等団体窓口担当)の後任は、齋藤さんになります。

放送大学卒業祝賀謝恩パーティから

今年の卒業式は3月12日土曜日に昨年と同じ東京ベイNKホールで行われました。平成16年度の卒業生は1学期2学期合わせて5,185人(学部4,827人、大学院358人)が卒業を迎えました。卒業生の人数は昨年より増えています。また卒業祝賀謝恩パーティは東京ベイヒルトンホテルで12時30分から卒業生650名と大学から井上理事長、丹保学長や副学長、そして今年で退官される教授や学習センターの所長などの諸先生がおいでになりました。茨城学習センターの奥達雄先生も退官する先生の一人でした。同窓会長の悠長な語り口で「卒業してもここからがスタート、再入学して更に学問を究めるよう」と、学問の糧を放送大学からと呼びかけた。丹保学長は「時代に即した放送大学として発展させたい」と信念をのぞかせた。今回は混雑を緩和するためパーティの予約を中心に当日の受付を抑えたので会場内の飲食物が少ない、遅いなどの混雑はなかったと思います。2時間のパーティをスムーズに行うために実行委員は80余名、同窓会の会員がチームを組んで、それぞれの担当を受け持ち実施されました。会場内には約700人もの人たちが行き交い卒業の喜びと諸先生との別れを惜しんでいました。今回は30分時間が延長されたのでアトラクションとして、あしだち同窓会長の角井さんが仕舞劇「羽衣」を15分ほど舞っていただきました。応援の飛び入りもあって雰囲気は盛り上がりました。茨城同窓会のPRを兼ねながら細川同窓会長と鈴木副会長が実行委員として参加しました(細川記)。



同窓会名簿の取り扱いの件

本年の4月から個人情報保護法が施行され、「本人の意思の尊重」が重視されます。現在、茨城同窓会の名簿を各会員に配布しておりますが、住所、電話番号、メールアドレスの削除を希望する方は、細川会長まで(0296-32-5210)ご連絡ください。

編集後記

大連の視察状況報告と卒業論文を中心に記事をまとめました。コメントは下記までお願いします。

- ・メール : s-kuzu@doctor.email.ne.jp
- ・FAX : 029-273-3341(葛貫宛)